

会派名	維新会
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	外国語指導助手事業	総務教育分科会

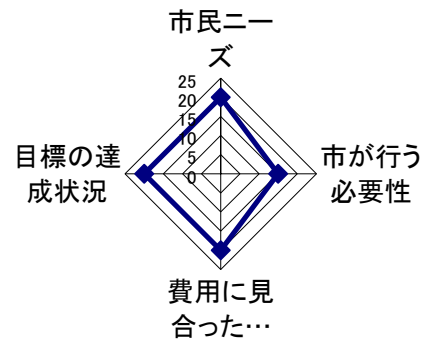
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 小中学生とその保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○      20	英語教育の重要性は高まっており、小中学生とその保護者のニーズが高いと考える。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 学校教育の一貫でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○      15	市民ニーズ、英語教育の重要性から学校教育の一環として行う必要性はある。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 予算と活動実態を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○      20	費用は高額であるが、市内小中学生に(13校、各1名のALT)と考えると妥当だと思う。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 英語をつかったコミュニケーション能力がついたか (英検3級合格者数、アンケート結果を踏まえて)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○      20	英検合格率も高く、アンケート等でも高い評価を得ている。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

市民ニーズが高く、英検合格率が高い等、事業として効果を発揮しており、事業は継続すべき。今後は、ノウハウの蓄積等が行政の課題。

課題と反省

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	外国語指導助手事業	総務教育分科会

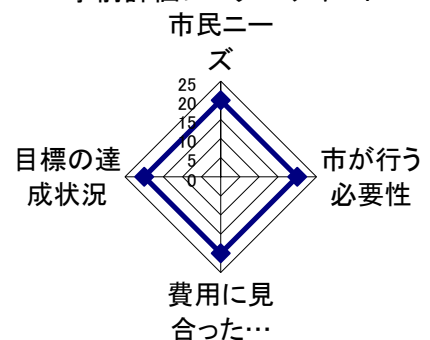
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 小中学生とその保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○      20	ALTによる授業は国際理解や表現力の向上に大いに役立っている。積極性を養い、話せる英語を身に着ける事が出来るようになってきた。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 学校教育の一貫でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○      20	市が行うことで教育格差を作らず、全ての児童生徒に外国人による英語教育を受けさせることが出来た。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 予算と活動実態を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○      20	外国人教師の人件費(給与)としては妥当な費用と思われる。1校にひとり常勤していることで、授業以外でも触れ合うことが出来、異文化交流に効果がある。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 英語をつかったコミュニケーション能力がついたか (英検3級合格者数、アンケート結果を踏まえて)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○      20	全国平均を上回る英検3級の合格率(2.5倍)であり、保護者のアンケートからも高い評価を得ている。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

各小中学校にALTが配属されていることで英検3級合格者が多く出ていることや、英語インタラクティブフォーラムで見せる積極的な会話力は、先生方のご指導によるものと評価できる。県大会では更にハイレベルな学校がある。今後の指導方法の検討が必要である。

課題と反省

英語が苦手な生徒をなくし、全体のレベルアップが図られるように、授業時間を増やしてはどうか検討する。外国で起きていることを知るなど、国際理解にALTの力をさらに発揮させる取り組みが必要ではないか。各校に成績のばらつきが無いか検証し、先生方の指導力アップに努める。

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	外国語指導助手事業	総務教育分科会

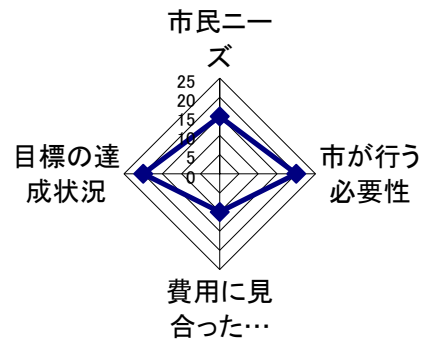
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 小中学生とその保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ○ ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	15	小学生から英語を教えるという観点からみればニーズ高い。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 学校教育の一貫でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	家庭ではできない内容、場面がある。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 予算と活動実態を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	教育者として、日本の資格を得ているわけではないところが問題。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 英語をつかったコミュニケーション能力がついたか (英検3級合格者数、アンケート結果を踏まえて)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ○ ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	これまでの成果は認めるが、今後について検討する必要がある。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	65
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

この予算をつけているのに、ALTの資格、適正においてはっきりしない。直接雇用ではないところに問題ある。

課題と反省

多額の予算付けが正しいか疑問である。

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	外国語指導助手事業	総務教育分科会

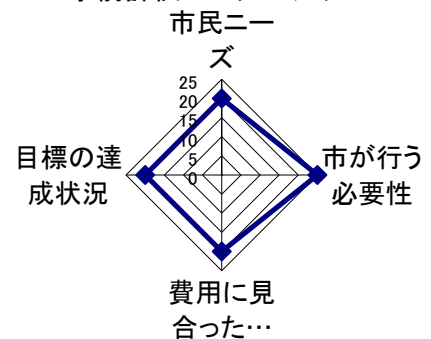
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 小中学生とその保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○      20	英語教育に対する環境変化は、小中学生やその保護者ばかりでなく、高校生や社会的にも要請されている課題である。その中で、小中学生の年代から英語のネイティブ・スピーカーと触れ合うことは、英語を話せるようになることばかりでなく、日本語以外の言葉を話す人になれるという観点からも大事なことである。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 学校教育の一貫でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○      25	(英語)教育の一環として考えた場合、教育委員会の関与は必要不可欠である。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 予算と活動実態を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○      20	現時点でも効果的な事業を行っている。一歩進んでいる守谷市の場合、今後は内容と結果を重視することが重要になってくる。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 英語をつかったコミュニケーション能力がついたか (英検3級合格者数、アンケート結果を踏まえて)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○      20	確かに英検の結果などを見るとそれなりの評価はできる。しかし他よりも進んでいることを自負している守谷市としては、さらに高い目標を掲げては良いのではないかと思う。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由
ALT授業をビデオで見る限り、期待以上の授業を行っていると感じられた。ただ、他国の状況を考えて場合、授業をすべて英語で行っていることがよく見受けられる。ALT事業で他よりも進んでいると自負している守谷市としては、ALT授業を内容をもっと充実させ、守谷市としての目標設定も高めに設定しても良いのではないかと思う。例えば、中学3年生での英語授業をすべて英語でやるとか。教師の努力も必要で時間も掛かると思うが、守谷市の英語教育の目指すところとして掲げて良い。

課題と反省

--

会派名	もりや創世会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	外国語指導助手事業	総務教育分科会

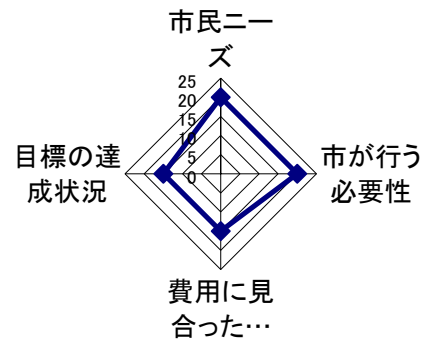
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 小中学生とその保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○      20	グローバル社会へ変わっていく世の中の中ではニーズが高い
(2) 市が行う必要性 評価の視点 学校教育の一貫でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○      20	語学の習得は早く始める方が効果的であり学校教育でやるべきである。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 予算と活動実態を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○      15	ALT事業は大きい予算である。予算と活動実態を比べると概ね適正であるが改善の余地はある
(4) 目標の達成状況 評価の視点 英語をつかったコミュニケーション能力がついたか (英検3級合格者数、アンケート結果を踏まえて)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○      15	英検3級合格者数を見ても成果は出ている。しかしその成果すべてがALTのおかげである因果関係はまだ不明であり今後評価するために目標を明確化する必要がある

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

守谷市の外国語指導助手(ALT)事業は他自治体と比べても力を入れている事業である。そのため、事業の成果が出ているか、ALTの質はどうであるか等の疑念があり、事業を再度調査したが一定以上の結果(英検3級合格者数が全国平均を大きく上回る結果)は得られており、ニーズも高いことがわかった。しかしながら自治体として外国語の習得に関してどの程度の習得を目標にしているかが不明瞭である。目標を明確にする等、評価の基準を定める必要がある。

課題と反省

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
2	一般会計	外国語指導助手事業	総務教育分科会

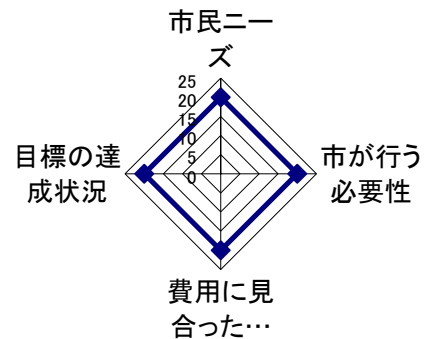
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント
(1) 市民ニーズ 評価の視点 小中学生とその保護者	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○      20	小中学生やその保護者からみたら外国語指導助手の必要性は高いと考えられる。
(2) 市が行う必要性 評価の視点 学校教育の一貫でやらねばならないのか	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○      20	義務教育での外国語教育は行政として行うことが望ましい。
(3) 費用に見合った効果 評価の視点 予算と活動実態を考慮した視点	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○      20	5,836万円の予算に対して13名の指導助手となっているが、一人当たり約449万円の予算と考えると妥当である。
(4) 目標の達成状況 評価の視点 英語をつかったコミュニケーション能力がついたか (英検3級合格者数、アンケート結果を踏まえて)	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○      20	他市町村に比べても英語検定の合格率も高く一定の達成状況はあると考える。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由

予算額や成果の状況を見ると効果的な事業となっているが、合格率の向上を今後も図るなどの工夫の余地はある。

課題と反省